

令和6年度 第1回 印西市立図書館協議会会議録 要旨

- 1 開催日時 令和6年7月5日(金) 午前10時00分から午前12時10分
- 2 開催場所 印西市文化ホール 2階 大会議室
- 3 出席委員 飯尾委員、和田委員、中嶋委員、黒澤委員、石ヶ谷委員、関口委員
樋口委員、長尾委員、大和委員、和田委員
- 4 欠席者 なし
- 5 事務局 大木教育長、飯島生涯学習課長、秋谷大森図書館長、
根本大森図書館副館長、洞毛小林図書館分館長、
富田そうふけ図書館分館長、秋本印旛図書館分館長、
佐々木本埜図書館分館長、齊藤主査、伊藤主査、吉野主査
- 6 傍聴者 5名
- 7 会議内容 議事
 - (1) 委員長及び副委員長選任について
 - (2) 令和5年度図書館事業報告について
 - (3) 令和6年度図書館事業計画について
 - (4) その他
- 8 その他

会議要旨(要点筆記)

【会議公開に伴う傍聴席の設置と会議録作成のための録音機材の設置の了解】

【教育長あいさつ】

【委員自己紹介】

【事務局自己紹介】

【委員長及び副委員長選任】

- 〈進 行〉 委員長及び副委員長の選任をお願いいたします。
選出にあたりましては、印西市立図書館設置条例施行規則第20条第2項の規定により、委員の互選によるとなっておりますが、いかがいたしましょうか。
どなたか、ご推薦をいただけますでしょうか。
- 〈委 員〉 事務局から案を示していただき、それにより選出をしてはいかがでしょうか。

(挙手で賛成の意)

〈進 行〉 それでは、事務局案としまして、委員長に黒澤委員、副委員長に大和委員を推薦いたします。
よろしく、ご審議を賜りますようお願いいたします。

(挙手で賛成の意)

〈進 行〉 委員長に黒澤委員、副委員長に大和委員が選出されました。

【委員長あいさつ】

【図書館概要説明】

〈進 行〉 それでは、議事に入らせていただきたいと思います。
議事進行につきましては、印西市立図書館設置条例施行規則第21条第1項の規定により、委員長が議長となることとされておりますので、黒澤委員に議長をお願いいたします。

〈議 長〉 それでは、しばらくの間、議長を務めさせていただく。
会議の円滑な進行にご協力をお願いしたい。

【会議録署名委員の指名】

〈議 長〉 はじめに、本日の会議録署名委員の指名を行う。
名簿順をお願いしたい。今回は飯尾委員を指名させていただく。

【議題】

議題（１） 令和５年度 図書館事業報告について

〈議 長〉 それでは、議事に入りたいと思う。「令和５年度図書館事業報告」を議題とする。事務局より説明をお願いしたい。

〈事務局〉 （令和５年度図書館事業報告について説明）

〈議 長〉 事務局より説明があつたが、この内容に関して質疑等があれば、お願いしたい。

〈委 員〉 参考資料４の蔵書統計（２）資料増減表（Ａ）図書資料の印旛図

書館の増減が9というのはどういう状況でこのような数字になっているのか。

〈事務局〉 参考資料4の蔵書統計(2)資料増減表(A)図書資料の印旛図書館について、増減が9となっているのは9冊しか増えていないのかということについてご説明させて頂く。

まず、左側の購入が999点、寄贈が251点で増加合計が1,250点になる。除籍については1,241点、毎年毎年増えていくので予め需要がなくなった本を除籍し、リサイクルに出したりしている。その点数が1,241点で増減が9点となっている。

〈委員〉 質問です。増減で調節しているということは、それだけ蔵書を保管する場所がないという現状なのか。

印旛図書館に関しては、もうこれ以上冊数を増やせないという状況なのか。

それで改修工事ということなのか。

〈事務局〉 そうです。

どの図書館も教育長が、先程申し上げたとおり開架というみなさんが良く目にするコーナーがある。その後ろにバックヤードで閉架書庫というしまう場所がある。歴史的資料や捨てられないものなど色々保管してあるが、それをどんどん溜めっていると限界になる。

〈議長〉 図書館の年報が配られていると思うが、収集基準や除籍基準というのがある。税金を使って本を購入するし、かつその税金を捨てる訳で、除籍基準というのがある。どこも館長が言ったようにキャパがあるので、ずっと持っている訳にはいかない。もちろん、内容が古くなったり、汚れたり、もしかしたら盗難があったりということで除籍していく。

ただ昨年度、慶応義塾大学の先生の講演会があり、やはり印西市の図書館の場合、書庫が少ないので、レファレンスに対する提供率がなかなか低いという課題が出された。

これからやはり書庫を増やして、少しレファレンスや将来に残す本を蓄積していくということで、色々練られているところなのだろうと思う。

ありがとうございます。

他に令和５年度図書館事業報告に関して、何か意見はあるか。
また後程、気が付いてからでも結構なので、後で質問を受付けする。
令和５年度の事業報告については、ご了承いただくことでよろしいか。

(挙手で賛成の意)

〈議長〉

ひとつ研修結果の報告について資料の用意が無く、先程、事務局から口頭での報告でよろしいか。私達が心配しているのは、職員が少なく、かつすごく利用が活発なのに、職員の研修がきちんと参加できているのかという心配がある。研修報告等どこかで挙げてもらえないかというのを前年度お願いしていたと思うが、今回資料を見たら、職員研修について、どんな資料かと思い見たら、資料が付いていなかったの今日、配られるのかと思ったが、資料がなく口頭での説明だった。なぜ今回は、口頭でという事になってしまったのか。

資料はないのか。

また間に合えば、来年度は出していただけたらと思う。

職員の方には、是非研修に参加していただきたいと思うのでよろしくをお願いしたい。

次に「令和６年度図書館事業計画について」を議題とする。

事務局より説明をお願いしたい。

(事務局)

(令和６年度図書館事業計画について説明)

〈議長〉

本日が初めてという委員の方も多いので、議長の話が多くなるのは大変申し訳なく思うが、本年度から「印西市立図書館サービス計画」がスタートした。

職員は増えていない。しかしながら長年の要望であった資料費の予算が５００万円ほど増えていると話があった。長年、協議会委員や子文連さん達が要望していた。

印西市は、非常に活発な利用があるのにも関わらず資料費が、千葉県内の資料費と比較表というのがありますが長年、平均値より随分低い値にあった。地方交付税不交付団体にも関わらず、かつ、こんなに利用が活発であるのに、その市民の要望に応えなければいけないので、資料費を増やしてくれるようにずっと要望してい

た。

今、少しずつではあるが増えているというのは、館長さんはじめ職員の方たちの要望に対しては評価させていただきたいと思う。かつ、職員の方が増えないにも関わらず、サービス計画を受けて新規事業、児童向けの事業はすごくやっているが、一般向けの事業や高齢者、障がい、青少年サービスなどの事業が、なかなか発展性が見られない。今年度、新規事業で一般向け事業を3つ増やしたということなので、その辺は評価したいと思っている。私の意見を先に述べさせていただいたが、「令和6年度図書館事業計画について」皆さんの方から意見を伺いたいと思う。

〈委員〉

令和6年度の実施内容の項目の中から小倉台図書館保全改修工事基本設計、実施設計という事でお尋ねしたい。

自分の家の近くでもあり、大変よく利用させていただいている。改修工事について、昨年度も基本設計、実施設計と載っていたが、その進捗状況はどのようになっているか伺いたい。

新しくなって市民の方どうぞといきなりではなく、どういう風に改修されていくのか、今の図書館がどういう風が変わっていくのか、その過程に普段利用している市民の声も反映させていただきたいと思っている。

例えば図面を公開してもらい、ここをこうした方がいいとか、ここは気に入っていると、そういう市民の声を聞いてもらえる機会を作って欲しい。

そういう機会はあるのか。

大森図書館が改修し、一つの例だが、おはなしの部屋というのがあり、以前は、絨毯敷きで小さいお子さんがお母さんとくつろげる場所があったと記憶しているが、新しく出来たところを拝見したら、ピータイル敷きが変わっていて、くつろげるような雰囲気ではなく変わってしまったのが残念。

小倉台図書館はこれからなのでどうなるのかと気になっている。

〈事務局〉

現在の進捗状況という事ですが、昨年より実際どういった改修をするかという基本設計を行った。

まず大前提から説明させていただく。

今回の小倉台図書館の改修工事については、保全改修工事であり、つまり老朽化した機器の入れ替えがメインの工事になっている。

リニューアル等ではなく、あくまでも施設の延命化と環境、例えば、もし途中でエアコン等が壊れてしまった場合、大変なことになってはいけないので、そういった機器の更新がメインの工事になっている。

まず、そういった改修を行うために、昨年度、基本設計を行い、どういったところを直さないといけないかというのを見ながら、今年度、実施設計という形で、それを具体的な形に図面等に落とし、どこを改修するのかという形の設計を現在行っている。

今回の改修工事にあたり、事前に地域住民や市民の方々にアンケート調査をし、そのアンケート調査結果を基にして、改善できるところがあればしていこうというのはある。基本的には、印西市の施設の長寿命化計画があり、それに基づいた第一段階の中の保全改修工事という施設の延命化のための作業となる。

どこか大きく変わるというのは、ほぼありませんが一部、現在の視聴覚ルームとなっている部分ですが、利用者がかなり少ないこともあり、そこに開架書架、授乳室を付けられればというところで、改修を予定している。

照明器具をLED化したり、ただ建物としてあれ以上面積を増やせる場所ではないので、何かしら大きく広くなったりとか環境が変わったりというのは、今のところ予定はしていない。

皆様のご意見をこれからというのは、すでに実施設計に入った段階なので難しいところである。事前にアンケートをいただいた中で、そういった意見をいただいているところでご了承いただきたい。

〈委 員〉 意見等があれば直接、副館長のところに伺ってもいいのか。

〈事務局〉 はい。大丈夫です。

〈委 員〉 小倉台図書館の集会室だが、スクール便の本とかで物置状態になっているのが、ずっと前から気になっていた。
あの場所を市民が会議をしたり、私達でいえば、読書会の例会をしたりするのに、整えていただきたいと思う。
改修の機会にそういう要望をしたい。

〈事務局〉 実際、図書館という場所が貸館ということを基本的に行っていない

い場所である。

ちょっと今まで、そういう体制が出来ていなかったところはある。通常、貸館は公民館等がメインに行っているところで、集会施設についても当時は、確かに一般の方々が勉強したりする部屋で開放していた時期もあったようですが現状は、施設自体、その倉庫、先程言いましたが、図書の蔵書もかなり増えてきている中で、集会室に物が置かれてしまっているのも現状となっている。

ちょっと集会室については、元々給湯室みたいになっていたようだが、現在使用していないので倉庫への改修を予定している。

〈委 員〉 倉庫に改修するのか。

〈事務局〉 倉庫に改修する。
給湯室みたいなのが付いていたが、現在、使用されていないので倉庫に改修する形で設計を行っている。
出ているものをしまったり出来ればと考えている。

〈委 員〉 給湯室は、昔利用させていただいた。
あそこでお茶を入れて、例会や話合いとかできたが、いつからか閉鎖になってしまって使えなくなってしまった。
市民の立場としては、あれは良かったと思う。

〈事務局〉 やはり図書を読む場所なので、あまり飲食というのは励行していないところなので、基本、図書館では飲み物もキャップ付きのものでお願いしている。集会室の方も図書を読む場所として以前開放したところもあった。
使用されなくなったのかなということもある。

〈委 員〉 そこも含めて、サービス計画を作ったところなので、これからの図書館のあり方ということで、どういう図書館を市民が求めているのかというところを含め、考え直していただけないか。
よろしくお願いします。

〈議 長〉 図書館には、研修室は必須だと思っている。
かつボランティアさんの育成や図書館事業を開催するなどそれは凄く大きい。

図書館事業を開催するにも研修室やボランティアさんの育成、文子連さんの育成、連携協力などそういう場所に研修室、会議室や集会室はすごく重要だと思うので、確保していただけるような前向きな姿勢でお願いしたいと思う。

こういった図書館協議会も最近は大森図書館でやっているが、出来れば会場を回して、改修が終わったそうふけ図書館や小林図書館など順次回していただけるとありがたいかなと思っている。意見として言わせていただく。

他に令和6年度図書館事業計画（案）について意見はあるか。

〈委員〉

先程、議長が問題提起したように、印西市は資料数が少ないというのは痛感している。

今年、500万円の予算があるのはすごく嬉しいが、それをどのように配分されるのかなというのはすごく気になっている。

私が、こちらに来て思ったことは、借りたい本が少なくて予約しようとしても、1年ぐらい先にならないと予約が出来ないという現状がある。

このサービス計画の中身を見たときに、利用者として私が見た範囲でいえば、非常に課題がしっかり捉えられていて、これは流石だなと思ったが、どうやって具体的にしていくのかという道筋の参考にして頂ければと思う。例えばその図書館で一番借りられている本、利用者が借りようと思っている本というのは、市のホームページでいえば「人気のある本」だと思うが、その一番は、「成瀬は信じた道をいく」という、先日、本屋大賞を取ったので、皆さん読んでいるかと思うが、印西市のリクエスト数を調べてみたら166冊あった。

リクエスト数が166冊で資料が6冊しかない。だから単純に、1人2週間で回していても1年かかる。

それを同じようにベスト5でやってみたが、市民が借りたいと思っている資料は、やっぱり9か月ぐらいかかる。

これはやっぱり借りたくても足りないなというのが正直な思いである。

なので、その500万円の配分を是非考えていただきたい。

さらに言うと何故だかわからないが、印西市の図書館は新刊の利用タイミングがすごく遅い。

調べてみたら、今おそらく世の中の本好きな人が一番借りたいと

思っているのは、この間、直木賞を取った、万城目学さんの新刊だと思う。

それが6月24日、最近出たばかりの「六月のぶりぶりぎっちょ」というタイトルだが、これが昨日時点で千葉県の図書館を調べたら、30自治体で貸出可能になっている。

もちろん全部貸出し中か予約中で、でも印西市にはない。

予約も出来ない。

図書館の使命としてまんべんなく色々な資料を集めるというのはすごく良くわかるが、先程、議長もおっしゃっていたが、他の自治体に比べてそのサービスの度合いが低いというのは良くないと思う。

私が比べているのは、近くで人口も規模も同じような佐倉市、成田市だが、今その新刊がすでに2冊ずつある。

先程の直木賞のノミネート作や借りたい本のランキングのベスト5あたりでいうと、印西市の蔵書数、資料数は、佐倉市の半分、成田市の3分の1しかない。

人口規模からいったらそれは全くおかしいので、このサービス計画の中に図書館の利用促進をしようというのは、すごく前向きな熱い意見があっていいなと思うが、どんな策を打つよりも、利用者が借りたいと思っている本をタイムリーに豊富に置くことが一番だと思う。

他のところにお金をかけたり、施設を良くしてもなかなか利用者は増えないと思う。

なので、500万円増やしたのであれば、是非ベストセラーを図書館に置いていただきたい。

もう少し言わせていただくと、具体的にこれをやってほしいというのがある。

印西市の図書館の宣言という事で、「直木賞・本屋大賞」ノミネート作を千葉県で一番増やします、一番早く貸し出します。これさえやってもらえれば、この後出るのかもしれないがSNSとかで的確に広報すれば、絶対に利用者が増えると思う。

〈議長〉

だいぶ予算が落ち込んだ時もあり、昨年度までずっと資料費を県の平均よりもとにかく上げるように努力してくれという事で、あげてはいるが、複本リクエストの多いもの、複本の数、書店さんと図書館のせめぎ合いもあり、印西市の司書の方たちの考えもあ

と思うので、その辺のところを事務局にお聞きしたい。

〈事務局〉

確かに人気のある本、本屋大賞を取った本が突然リクエストにあがる。

いま、議長もおっしゃっていたが、図書館の複本は、やはり出版社や本屋さんの情報から本が売れないなど原因は色々と言われている。複本を増やせばいいという問題でもなくなってきているところが正直なところである。

100件も入っていれば、20冊ぐらい揃えたらどうだというのは十分わかってはいるが、予算もそうだが複本ばかりになっても要は、旬が過ぎたら全部どうなるのかという問題もやはりある。印西市では、6館あるので、人気が出た本に関しては、そのリクエスト件数によって、追注をかけている。

もう最初から人気が出るのが分かっているならば、最初の選書会の段階で全館に1冊というようにしてしまうので最高でも6冊になる。

これ以上1冊では間に合わないというときは、状況を見ながら、例えば、購入するが、20冊ぐらい購入ということにはいかないので、皆様には申し訳ないが、待っていただくという現状になっている。

〈委員〉

たぶん、待たないで本を読むのをやめてしまうと思う。

それで本屋に行って買えばいいが、今、本が高いから結局本を読まなくなってしまうというのが一点と、おっしゃられた本屋さんとのせめぎ合いみたいなのは良く分かるが、それって全国で起きていることで、でも全国の図書館の新しい取り組みで、複本を増やしましょうと、それよりも来てもらった方が嬉しいという意見で複本を増やしているところもあると聞いている。

それは、みなさんの考え方ひとつである。

現に先程の万城目学さんの新刊は、発売2日目に南房総市で、すでに貸出し始めている。

これはもう確信的に「直木賞を取った本はすぐに用意する。南房総市は、一番早い」というセールスポイントとしているはず。全般的な世の中の動きとかこれまでのしがらみとかではなく、印西市として新しくやるという腹決め一つだと思う。

いや、うちはやっぱりちょっと、その辺としがらみがある。

仕方ないということであれば、それは仕方ないと思うが、今回委員にならせていただいたので、素人がちょっと生意気ですが、私はそういう考えをしていただけないかなと思う。

〈議 長〉

参考意見とさせていただきながら、本の出版流通の問題もある。話題になった本は、急に予約が上がる。

最初にどうやってその本をつかむかっていうことが結構大きな問題らしく、印西市は、何冊まで提供するか、何ヶ月先までまたせるのかというところが課題になってくると思う。

貴重な意見をいただいたので、司書の方達に考えていただきながら、こんなに利用が多い図書館なのだから、大事なところをとらえていただければと思う。

〈委 員〉

図書館サービス計画進行管理についての多文化サービスのところが気になりまして、印西市もすごくグローバル化が進んでいる。小倉台図書館の書籍数が一番多かったのですが、あの外国人向けコーナーのところに行くのがっかりする。

書籍数が少なく、古かったりとかして、なかなかここに興味を持って、図書館に本を借りに来る外国の方もいないのかなと思っている。

サービスの計画進行管理についての案で、外国人向けの多文化サービスが出てきたのは今回初めてなのかなということと、指標と目標値がないので、今後どのような感じで充実をさせていくのか。予定があるようなら考えを伺いたい。

〈事務局〉

多文化サービスですが、実は昔からやらなければいけないことである。図書館サービスの中では、そういった多文化サービス、外国人の方のサービス、もしくは国内に住んでいる方が多文化に対する興味を持っていただくための図書館サービス。そういった面について本を揃えていかなくてはという事で昔からやらなくてはいけなかった。

おっしゃるとおり蔵書数が少ない。

それについても、先程から議長の方からお金が少なかったということで、なかなか揃えることが出来なかった。

今回、サービス計画を策定させていただき、要は課題の洗い出しをさせていただき順次取り組んでいく。どこまでやれるのかは不

安もある。そういった面で、すぐに取り掛かることは何かすぐには出てこないが、本屋大賞の本や小さいお子さんの絵本の買換えを進める。どこから手を付けていいのか迷っているが、取り組んでいきたい。

〈議 長〉

委員の冒頭の挨拶で、外国語関係のボランティアをなさっていると聞いて、これはしめたと私は思った。

多文化サービスについて、印西市の図書館には全く何もなかったので是非、協力いただける方が来てくださりすごくよかったと思っている。

図書館もそうだが、学校でも外国語の子ども達が増えていて、学校現場が一番困っているのではないか。その辺のところのお話を聞かせていただきたい。

〈委 員〉

英語、中国語はもちろんですが、それ以外の国籍の方がかなり増えている。

そうするとやっぱり学校の方でも対応が非常に難しい。

市の方で日本語指導員の方を付けてくれても、本当に週に何時間しかいないので、両親のどちらかが日本人であると家庭でもある程度日本語を習得出来るが、両方やはり外国籍ということであるとなかなか基本的なところ、日本語が習得できない。

そうするとやはり授業の方もなかなか理解できないので、学校自体も面白くなってくる。

多文化の外国人のニーズに対応している部分で、どの辺まで言語を考えているのかというところと、そう言ったアンケートを取るとか、あるいはどこの国からの外国人が来ているかというところを市役所の方で確認した上でそのサービスを考えていく。

学校でもこういった学習資料がありますよとかそういったものがわからないと、こちらも薦められない状況があるので、こんな本がありますよとか、これを見てみるといいですよ、こんな資料がありますよとか、ここに行けば借りられるとかというのを学校の方にも伝わるといいかなと思う。

〈議 長〉

多文化サービス資料だけの提供だけではなく、互いの文化を伝え合うみたいなサービスもある。

文化の総理解みたいなことも図書館の使命としてあるのでそれ

も含めながらどうですか。

〈委 員〉

小学校にも自分のところだけではなく、色々な国から来てくださっている。英語だとなんとなくしゃべれる職員も多いが、まず何語なのかわからない国のお子さんだとやはりちょっと職員も身構える。

やはり色々な資料があると嬉しいなと思う。

あとは、小学校は読書の時間をかなり取っているの、図書室に行って、好きな本を読んで心を豊かにするという時間があり、読む本がないとしんどい。やはり図鑑を見て終わるとか、写真や絵が多いので終わってしまうと教室でもしんどい、図書室でも息が抜けないと居場所がなくなる可能性が高くなり、学校がしんどくなってしまう。

いろんな国の本がありますよと学校側に提供してもらえると使いやすいと思う。

〈委 員〉

クラスに2人中国の方が中学2年の終わりと3年のスタートから受け持つことがあり、受験をさせなくてはいけないので、日本語を話せるようにするために、日本語指導員さんとそうふけ図書館を結構使わせていただいた。日本語の勉強と一緒に学校外でも週2回ぐらいやっていた。

その中で確かに本が少ないかなというのはあった。

それなりに今翻訳アプリとかもあるので絵が付いていたり、中国の子どもは漢字が付いていれば結構読めたりする。読みやすい本を充実させていただければ、翻訳アプリもあるので何とかかなのかなと感じる。

外国語を揃えるなら、英語、中国語、韓国語、スペインの子どもが多い。

今、電車に乗った時に、普通に日本語だけではなく、英語、中国語、韓国語が入っているのでやはりそのあたりが多いのかなという気がする。

最近の転校してきた子どもの言葉ですが、役立つ資料としては、お父さんが外務省で働いていて、日本語の指導の先生がいて、その方が持ってきてくださった色々な国の言葉に翻訳できる教科書があり、それが高い。

全部揃えると10万ぐらいするものがある。結局それを職員が個

人のお金で買ったりすることがある。

そういうものを市役所に聞いてもらい、勉強する本があるので、それを図書館に置いてもらえるとすごくいいかなと思う。

日常の挨拶とか基本的な日本人が日本語を勉強するような本ではなく、例えば、家電製品屋さんに行ったら、どんな単語が使えるかというような子どもたちが遊んでいるときにどんな会話をしているかというよく使う言葉から、あらゆる言葉が十何ヵ国語に翻訳できる教科書があって、自分も中国の子が2人入ってきて初めてそういう本があると知ったので、そういう本を入れていただけたらいいかなと思う。

〈議 長〉 大学現場はどうか。

〈委 員〉 私達の大学は小さい学校ですが、4分の1が留学生で、基本全寮制なので、学生たちでお互い助け合っているところが多い。授業としては多読ですね。それが一番。

日本語の絵本のようなものを多読する。日本人が英語を学ぶ場合も、多読が一番いいと、日本人は難しい文法ばかり勉強するが、多読が一番留学に近いというので、そういう指導をしている。実際、私も印西市に住んでいて、明らかに外国の方が増えた。中東系の方もよく見かける。実際今のご質問は、むしろ市のサービスか。図書館含め、これだけ外国人が増えているので、そういう方々にどんな対応していくのかに関わる問題かなと関心はある。本当に必要が大きいと思います。

〈議 長〉 本当に外国の方が増えて図書館には多文化サービスというサービスがあるので、やはり市民の方達のよりどころは、図書館なので、それでこんなに外国の方が増えていて、よりどころとしていくために、委員の方の中で海外の方に携わる方達と学校現場の方達と協力いただきながら、図書館も多文化サービスをどうやって行くか本当に右往左往だと思うが、現場に本当に近い方達に教えていただきながら、少しでも進めていけるといいかなと思うので、これからもご協力いただけたらと思う。
他に何かあるか。

〈委 員〉 実際どういう方がこの図書館で働いているのかなと関心を持って

いる。

参考資料 3 の組織があるが職員数と実際、司書資格を持っている方々含めて会計年度任用職員が多い。

教えていただきたいのは、任期付職員と会計年度任用職員はどう違うのか。どういう採用をされているのか、どういう層の方々が働いているのかお聞きしたい。

〈事務局〉

任期付職員については、任期が 3 年で司書資格を有することを条件として採用している。こちらの表を見ていただくと実質同じ数になっている。会計年度任用職員については、昔の非常勤職員と想像いただければと思う。任期については、1 年ですが、意向により 3 年継続することが可能になっている。会計年度任用職員については、週 3、週 4 の勤務となっている。

司書資格を持っていなくても図書館で働きたい、本が好きだからと言って応募してくれる方を採用している。

最近では、60 歳以上の方で、1 度会社にお勤めされていて退職された方が、地域で働きたいということで図書館を希望してくれる方も多くなっている。男性の方が、今結構多い。

基本的なことですが、任期付職員に関しては、職員と同じように事業の企画や提案をし、職員の手が回らないところとか、色々なことを協働して事業等を行っている。

会計年度任用職員 2 年目の方については、補助的なものですが、カウンターや配架作業を行っています。司書資格を持っている方については、レファレンス等に入っている。

〈委員〉

今の事に対して、シニア層が多いと言っていたが、基本的に主婦層でしょうか。週 3・4 日のパートの様な形で司書資格を持っている方々が、この図書館を支えている感じかなと思った。

〈事務局〉

そうですね。

支えられているのが現状である。

〈議長〉

印西市の図書館は、正職員が少ない。

まして司書の人数が極めて少ない。1 館に一人しかいない状況である。

図書館で働く司書達は図書館を愛してやまない者が多いですが、

本当は、正職員の司書で固めたいというのが希望としてある。

浦安市の図書館は、ほぼ司書職員で形成している。

ただ専門職が必要な仕事と、単純業務もあるので、いわゆるパートさん、今は、会計年度任用職員と言っているが、資格があつたり、なかつたりする方達にお手伝えいいいただいています、全国の図書館の構成上、本当に正職でない職員さんに随分支えられている。

利用が多かったり、土日が多かったり、平日が少なかつたりとか、市役所は週5日だが、図書館は週6日開館したり7日開館したり、夜間もやっていたりと非常に開館時間が長いので、会計年度任用職員の方にお手伝いいただきながら、何とか開館している状態である。

印西市は極めて正職員が少ないし、司書が少ない。

ここ何年かずっと増やしてくれるようお願いしていた。

今年、募集していると聞いている。

来年度のことはあるが、募集について多分ご承知ない方もいらっしゃると思うので、少し教えていただいてもよろしいか。

〈事務局〉

今年の5月の広報に司書資格を有する職員の採用ということで3名募集している。

印旛郡市全体での試験になる。来年の4月1日の採用となる。

その方々が、どこに配置されるかは、ここでは分からない。

今まで結構長い間、司書資格の正規職員を採用しなかったが、今年の春に募集し、来年の4月から採用という事で3名増える予定である。

〈議長〉

定数条例とかある。

なかなか増やせないと聞いていたので、3名の司書募集あることは、今、日本全国でも司書募集というのは少なく、県内でも本当に浦安市、成田市、船橋市とか本当に少しの自治体しかいないので、印西市がここで募集してくれたというのは凄く喜ばしく思っている。

館長はじめ職員の方達の努力があるなと思っている。

是非、いい職員を採用して頂き、きちんと研修して育てていただきたい。

- 〈委 員〉 今、会計年度任用職員の話題が挙がっていたが、非常に待遇も上がったたり、ボーナスが出たり時給も上がってきたという部分で、逆に扶養の壁とかがあったりして、複数校勤務しているので、1校当たりの勤務時間が短くなったりして、本当はもっと読み聞かせしてもらいたいけど、それもできなくなった。
今年度は、今までよりも勤務時間が減ってきてしまったというところも、学校側としては課題として今あがっている。
- 〈議 長〉 学校図書館の問題については、この協議会でも大変頻繁に出ている。
これは公共図書館の協議会なので、なかなか学校図書館について協議する場ではないが、私自身は、子どもの読書活動を推進というのを事務局が図書館になっているので、審議は出来ないまでも、意見は述べて担当課に伝えてもらうことはした方がいいと思うので、遠慮しないで意見を出していただければいいかなと思う。印西市の学校図書館の支援は非常に行政的にも遅れていると思っている。
私も思うし皆さんも思っていると思うので、現場の方たちもすごく困っているのでは是非、担当課に伝えていただきたいと思います。
令和6年度図書館事業計画について何か他にあるか。
- 〈委 員〉 令和6年度印西市立図書館の基本方針及び運営方針の実施内容の中の民話絵本の作成について伺いたい。
新しい「光堂の竜」の作成と「そうふっけぱらのきつね」の増刷という話があったが、もう少し具体的に進捗状況をお聞きしたい。
- 〈事務局〉 まず「そうふっけぱらのきつね」については、契約が済み、現在作成に向けて進めている。年度内には納品がされる予定である。
もう一つ「光堂の竜」新規絵本の作成については、まだ市の契約審査会の承認がおりていないため、まだ契約に至っていない状況である。審査会の方にお諮りをいただいている。
その結果によってどうなるかというところである。
- 〈委 員〉 私達、子どもの文化連絡会の中にも絵本製作の検討委員会のメンバーが何人かいるが、こちらの方にもその進捗状況というのは教えていただけるのか。

- 〈事務局〉 今年度、第一回の検討会ということで、具体的になりましたら開催させて頂いてご説明をさせていただく。
具体的になっていないのにご報告させていただくのは申し訳ないので、今回の「光堂の竜」の作成について、契約や審査会の状況が分かりましたら進捗状況等の報告をさせて頂きたいと考えている。
- 〈委 員〉 大変気を揉んでいるのでよろしくお願いしたい。
- 〈議 長〉 他に令和6年度図書館事業計画で何かあるか。
- 〈委 員〉 昨年度の事業の中で、「おうちでおはなしかい」本埜図書館で62セットや「おうちおはなしセット」小倉台図書館で92セット用意してかなりの数の貸出を行っているようだが、これを2館だけでなく他の館でも用意して貸出ししたらいいと思う。
そういう予定はあるか。
こういうものを増やしてくれたらいいと思う。
- 〈議 長〉 意見として要望でよろしいか。
- 〈委 員〉 よろしくよろしくお願いしたい。
- 〈議 長〉 出来る限りよろしくお願いしたい。
- 〈委 員〉 「そうふけっばらのきつね」の増刷が進んでいるというお話だったが、予算の中には、それがどこに入っているのか教えていただきたい。
- 〈事務局〉 予算は委託料になる。
- 〈委 員〉 委託料の中に含まれているのか。
- 〈事務局〉 はい。そうである。
- 〈議 長〉 サービス計画の進行管理についてよろしくお願いしたい。

参考資料５の（１）資料収集・蔵書構成の２行目に「６館それぞれの利用に合わせた蔵書構成」の今後取り組むことのところに「問題課題サービス」とあるが、図書館用語で、「課題解決サービス」となるので、そこは修正していただきたい。

もう一つお願いしたいことがある。進行管理について気になるのが、指標の空白の部分の事である。

サービス計画を作った時に実施計画、上位計画とのリンクがあるので、数値目標の項目は増やせないかと館長さんがおっしゃっていたと思う。

それは分かるが、進行管理を見たら、きちんと項目が載っていてそれは良かったなと思っているが、この空白の部分というのは、今後、サービスを進めていくうえですごく大事な部分なので、すぐに出なくてもいいが、目標値を入れていってもらいたいと思う。上位計画の見直しが諮られた時にサービス計画に基づく項目はきちんと追加してもらいたいと思うが、項目が全く少ないので、児童サービスしかやっていないみたいな感じで、一般サービスや高齢者・障がい者、多文化サービス等、様々なサービスも今後載せていってもらいたい。実施計画の見直しがあった時、それとは別に進行管理が用意されて、ただ指標が空白のままなので、図書館としてすごく大事なサービスであると思うので、ここに目標値を少しずつでもいいので載せていってもらえないかという要望である。

〈事務局〉 今回についてはたたき台ということで工夫させていただきたい。

〈議長〉 学校の先生方も他の委員さんの色々な知見を持った委員さんに、ご協力いただき、数値目標をこの協議会で示していただきながら、少しでも数値目標を入れて、そこに向かってサービスを推進してもらおうとか、その方が分かりやすいと思うので、是非埋めていただくと要望する。

よろしくをお願いしたい。

他に意見はあるか。

〈委員〉 先程、小倉台図書館の保全改修工事に関して質問されていたが、ふれあいセンターいんばに関して、大規模改修工事の設計を拝見させていただきたい。

現在、印旛図書館ですが、図書コーナー、子どもの読み聞かせをする部屋がない現状である。基本的に子どもが音読しづらい状況で、楽しく読んでいるけど、他の図書館利用者さんにご迷惑がかかるということで、なるべく静かにとご指摘を受けている。是非、読み聞かせや子ども達が多少声に出して本を読める部屋の増設をして欲しい。大規模改修工事には設計図として入っているのか。拝見することは現時点で可能なのか。

〈事務局〉

現在、実施設計の方が進み、発注に入るが、昨年市民説明会を行い図面の中には、小さいですが、16㎡ほどの部屋を設けて、おはなし会ができるように予定している。
対応していきたいと考えているので、よろしく願いたい。

〈委員〉

大森図書館が、30周年記念ということで、創立記念の年にあたるとのことだが、お話の流れを変えてしまい申し訳ないが、図書館のカードのデザインについて、子ども達が親しみを込めて持っていて嬉しいカードのデザインにして頂くことは出来ないか。是非、市のキャラクターの周知の一環として、いんざい君が載ったカードを作ってもらえると市民にもキャラクターの周知も出来るし、子ども達も「カード持ってるんだ」と「図書館に行っているんだ」と意外と単純なところで、子ども達もそこから入るのではと思う。

私の周りのお母様方からも話を聞いていても、「ちょっとこれ探しづらいよね。」という意見もある。

デザイン料とか予算の面でも色々あると思うので、その辺今年度無理かもしれないが、ちょっとご検討いただき、もしかしたらもう少しお手伝い出来るのかなと思う。

〈委員〉

ちょっともったいない。

〈委員〉

一市民の意見である。

よろしく願いたい。

〈議長〉

新鮮な意見で、是非前向きに検討して頂き、カード一つ変えるには、なかなかの手順と、もちろん予算もすごくかかる。

でも何かのきっかけにチェンジすることもすごく良いことだと思うので、是非検討して頂き、すぐには無理だと思うが、是非検討

していただきたいのでよろしくお願いしたい。

〈委 員〉

サービス計画の4のデジタル化への対応も（1）電子図書館への推進で、電子図書館への周知を図りというのが、取組の内容になっているが、実際に使ってみて思ったが、今電子図書館に入るには印西市立図書館のホームページのトップページから入る。

でも我々ユーザーが一番使っているページは、そこではなく、「マイライブラリー」の画面で、一番クリックするのは、その中の「今借りている資料」、「予約した資料」、「予約かご」その三つのアイコンで、そこには電子図書館はない。

その三つの隣にスペースがあるので、そこに「電子書籍」というアイコンを一つ付けるだけで、必ずクリックは増える。

その電子書籍の隣に利用冊数か予約冊数、とにかく冊数を表示するようにすれば、そこは、利用者は必ずゼロになるはずなので、図書館に何か本があるかなと思っていつものページに行ったら、電子書籍があるのか。しかも今利用しているのがゼロじゃないかって、自分は、サービスを享受していないな、もったいないなと思うだろう。

クリックしたら電子図書館のホームページのサイトに飛ぶようにしておけば、おそらくそれだけで周知が出来るのではと思った。ついでに言えば、3・4年前に私が印西市に引っ越して来た時に図書館の電子書籍ってあるのかなと思って見たが、ほんの少ししか無かった。

見るのをやめていたが、今回見たら結構ある。割と売れているベストセラーもあるので利用しないのはもったいないなと思った。システム改修にはなるかも知れないが、アイコンの位置をそこに置くだけで結構変わるのではと思ったので、検討して頂きたい。

〈委 員〉

図書館のホームページは、ちょっと使いにくいところがある。

〈委 員〉

今の意見で、学校からの立場の意見になってしまうが、電子書籍であったり、図書館から出ている「ほんのタネ！」であったり今、子どもたちは1人1台クロームを持っているので、そこから色々なところにアクセス出来るようになると、もっと子ども達も積極的に活用出来るのではないかなと思ったので、その辺もまたご検討いただきたい。

〈委 員〉

お二人の意見に便乗していいか。

私も在住なので図書館に子どもたちと行くが、お家の人が見て行くわよと言ってくれるんじゃないかと思った。

学校にも「ほんのタネ！」とか「B o o K d e G O」とか配られるが学校じゃないと見られない、図書館じゃないと見られないと思った時に今、多分スクリレって言ってピンと来る方は、学校関係者または、印西市にお子さんがいる方だと思うが、図書館と教育センターで連携を取って頂き、保護者の携帯にもこのデータをPDFで飛ばせるので送信すれば、「図書館で何かやっているわよ」と

来館する方がいると思った。

〈議 長〉

そういうご提案もあったので、是非よろしくお願ひしたい。

学校司書さんが、それぞれ落ち着いていると、さらにそういう事も進むのではと思った。

〈事務局〉

今、子どものリストについて、スクリレの活用というご意見がありました。が、昨年度から教育センターを通して、スクリレに載せられるように手続きはしている。

ただ、私が個人的に担当に頼んでいたのは、校長先生が言ったように子どもたちが1人1台タブレットを持っているので、スクリレは、親御さん達が見るのできっかけになるが、ダイレクトに子ども達に「えほんのくに」、「ほんのタネ！」とかリストを作った物を載せたいと思っているので、そちらの方の手続きを今後また進めていくつもりである。

ただちょっと学校との関係と意見を調整しなくてはいけないので、そちらが整いしだいやりたいと考えている。

〈委 員〉

令和6年度の実施内容の一番最後ですが、コスモスパレットの中に設置する図書の貸出窓口業務について確認させていただきたい。先程の話では、本の返却、予約本の受取、資料の受取、検索、カードの作成などと言っていたが、別件で新施設の図面を見る機会があり、その中で諸室の概要というところがあり、図書の貸出窓口というところで、業務内容として図書の予約リクエスト、レファレンス、貸出を行うと書かれていたが、レファレンスをコス

モスパレットの窓口でやることになるのか。

〈事務局〉 レファレンスと書かれているが、クイックレファレンスと思っていただきたい。そこに本がないので、検索端末を置く。
市民開放パソコンも多分置くと思う。
検索してもらっても分からないことは、聞いてもらって「図書館にありますよ。」とか、あとはそれに対してのここで受け取りたいからリクエストしたいというそういう物を受取りになる。

〈委 員〉 あくまでも簡単な窓口業務ということか。

〈事務局〉 そこにいる人達が、たけている人ならいいが、結局は、小倉台図書館や大森図書館に電話して問合せしていただき、こういう資料は無いかなど連絡を取れるような体制にはする予定である。

〈委 員〉 はい。わかりました。
この資料からレファレンスという、図書館の資料ではないのであれですけど、削除された方がいいのかなと思った。
ちょっと紛らわしいと思う。

〈議 長〉 指定管理者が入ると思うが、それだけの業務をやることになる、ある程度、図書館で研修を受けた人が、窓口に座るという認識でよろしいか。

〈事務局〉 細かいことは、これから詳細の会議がある。
例えば、4月に窓口が始まるのであれば、その前に図書館で研修出来ないかという打合せをする予定である。

〈議 長〉 よろしくお願ひしたい。
小倉台図書館が、大変利用が多い図書館であるが、保全改修工事で休館するが、その改修は大変必要であり順次改修をしていくことは大変すばらしいと思う。
ただ、小倉台図書館は市内で大変利用が多い図書館なので、改修期間中、市民サービスというのはどのように行っていくのか考えているか。

〈事務局〉 地域でいうと、先程ありましたコスモスパレットの方で貸出窓口があり、他にも新聞や雑誌を読みたいという方もいらっしゃると思うので、そういったことに関しては、そういった場所を今探している状況である。
あの地域で場所がなかなか無い状態であるが、今後も探していきたいと思っている。

〈議 長〉 何かいい方法を考えていただければと期待している。
他に意見はあるか。
議題3についてご意見がないようなので、議題3「令和6年度図書館事業計画について」はご了承いただくという事で、よろしか。

(挙手で賛成の意)

議題(4) その他について

〈議 長〉 「その他」について事務局より何かあるか。

〈事務局〉 ありません。

(議 長) それでは、委員の中で議題にされたいことは、何かあるか。

〈委 員〉 以前、図書館で図書館利用者懇談会というのがあって、年に何回か開かれていたが、多分コロナかなんかで一時中断しているのかと思うが、図書館を利用している方達の意見を話し合える場所なので、もう一度再開して欲しい。
図書館利用者懇談会を開くことを検討していただきたい。
「としょかんつうしん」のバックナンバーを見ると年に何回か各図書館で開催されたとか終わった後には報告が出ていたりして、利用者の色々な意見を聞けるというのはとてもいいことだと思うので、是非再開していただきたい。

〈議 長〉 再開の予定とかあるか。
それについて事務局から何かあるか。

〈事務局〉 今のところ再開の予定はない。
ご意見としていただく。

〈議 長〉 昨年は、大変忙しい事務局だったと思うが、良い懇談会だったという意見もあるので、また是非、これから何か機会があったら復活していただくことも考えていただけたらと思う。
事務局の方から「その他」で何かあるか。

〈事務局〉 ありません。

〈議 長〉 以上をもちまして、本日の議事はすべて終了いたしました。委員の皆様、活発なご意見ありがとうございました。
これをもちまして、議長の任を解かせていただきます。
ありがとうございました。

【閉会】

〈事務局〉 本日の予定は、すべて終了いたしました。
これをもちまして、令和6年度第1回印西市立図書館協議会を終了させていただきます。

令和6年度第1回印西市立図書館協議会の会議録は、事実と相違ないので、当協議会は、これを承認する。

令和6年8月27日

印西市立図書館協議会

委員 飯尾 一哉